

第84回理事会議事録

1. 開催日 平成20年10月30日(木) 12:00
2. 場 所 関西文化サロン
3. 出席者 高木理事長
酒匂副理事長(東京支部長)、川口副理事長(東海支部長)、
永吉副理事長(大阪支部長)、木村副理事長(九州支部長)、
阿部理事(北海道支部長)、岩谷(東北支部長)、吉里理事、
原理事、秦理事、八十川理事、真柄理事(新潟支部長)、
高田理事、藤澤理事、山崎理事、木村理事(代・芦原)、
齊藤理事
事務局(柘野)
4. 議 題 ①理事長挨拶
②平成20年度予算の執行状況について
③独禁法コンプライアンスの徹底について
④第34期通常総会の開催概要について
⑤新HPのバナー広告掲載依頼について
⑥「品質保証分科会」の活動報告について
⑦その他

5. 経 過

(1) 高木理事長挨拶

高木理事長より大要以下の挨拶が行われた。

「日々業界情勢は急変しており、この先どうなるか全くわからない。こういう時こそ各種情報をチェックし、備えを十分しておく必要がある。2～3申し上げると、まず①鋼材価格のアップ等により各社の資金収支面の構造が大きく変化していると思う。金融機関の貸し渋りも予想される中、12月～3月頃にかけて資金繰りが一番苦しい時期になるとみられる。実態を的確に把握して、慎重なユーザー対応も一層重要になろう。②母材高騰で歩留まり損が増大し収益を圧迫している。スクラップが高ければまだ薄められるが。今後、適正加工賃をどれだけ確保できるのか、この課題は残されたまま解答がまだ見つかっていない。③シャシーの需要は約半分が建設向けであるが、このうち大型建築案件も足元の状況が大きく変化している。ここ2～3週間で相当の物件が延期、中止、変更になっている模様である。中長期的にも建設需要は下降傾向を辿ると予想される中、足元の事態が差し迫っており、出来だけ早く予防措置を講ずる必要があると思う。」

(2) 平成20年度予算の執行状況について

事務局より、平成20年度予算の上樹収支実績及び年度見込みに関し報告が行われ、審議の結果、了承された。

(3) 独禁法コンプライアンスに関する指針について

吉里理事・総務委員長より、配付資料に基づき、独禁法遵守の指針について説明があり、当組合としてはコンプライアンスの徹底を図り、事業を推進してゆくことが確認された。

(4) 第34期通常総会の開催概要について

事務局より、来年5月22日（金）、鹿児島県指宿市で開催の第34期通常総会の概要について報告が行われ、了承された。

(5) 新HPのバナー広告掲載依頼について

事務局より、本年4月より立ち上げた鉄鋼流通4団体（厚板シャワー工組、コイルセンター工組、全鉄連、浦安鉄鋼団地組合）の共同HPのバナー広告について、現在、高炉メーカー5社に掲載依頼中で、すでに新日本製鉄より賛同の回答が寄せられている。他の4社は返事待ちである旨、報告が行われた。なお、11月5日、神戸製鋼所より広告掲載了承の回答があった。

(6) 「品質保証分科会」の活動報告について

高木理事長より、本年3月に設置した標記分科会の活動概要に関し報告があった。

活動内容については9月下旬に全組合員会社に、アンケート結果（6月末実施）及び当組合としての意見・要望書（7月本委員会へ提出）等を送付し、周知を図った。現在、官学民で構成される「鋼材品質証明検討委員会」（委員長：森田千葉大学名誉教授）では、新しい鋼材の品質証明方式の検討を継続しており、同委員会には当組合代表として臼井分科会主査（富士鉄鋼センター取締役）、酒匂委員（京浜産業社長）、及び事務局が参加している。次回の第6回委員会は11月13日に開催される予定。

以 上